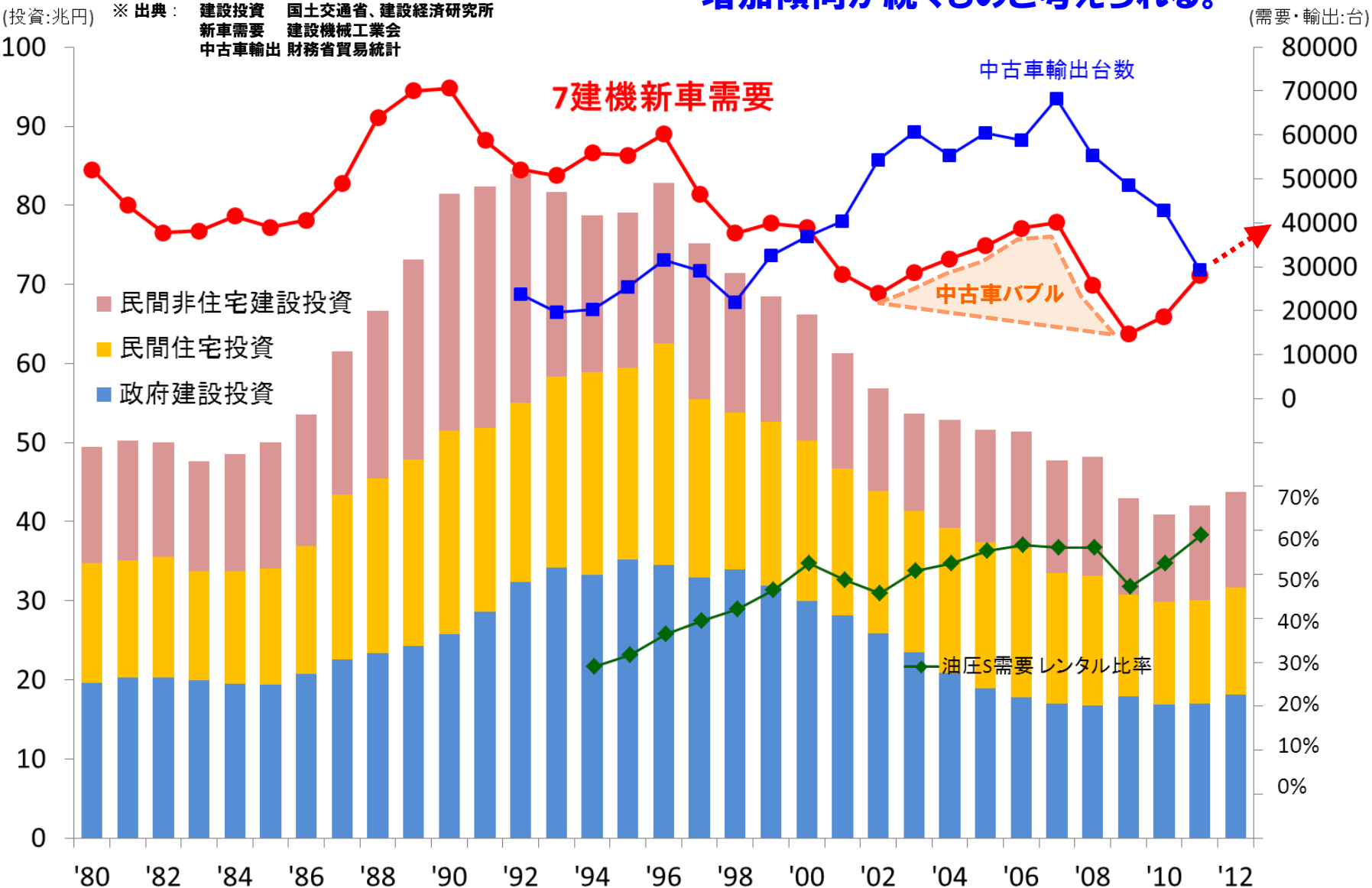


国内建機市場の現状と コマツの基本戦略

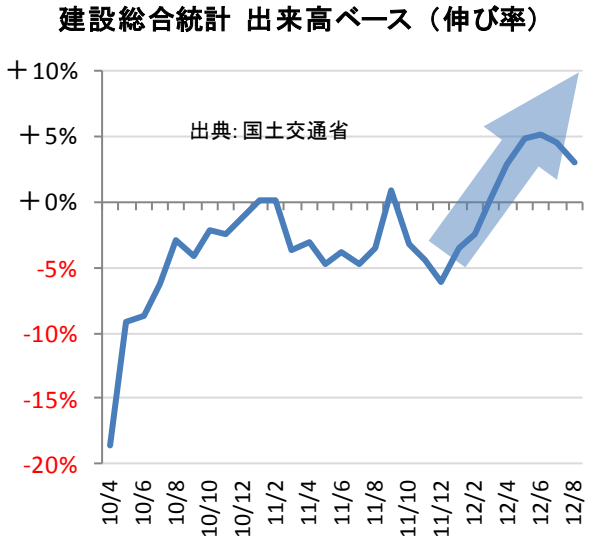
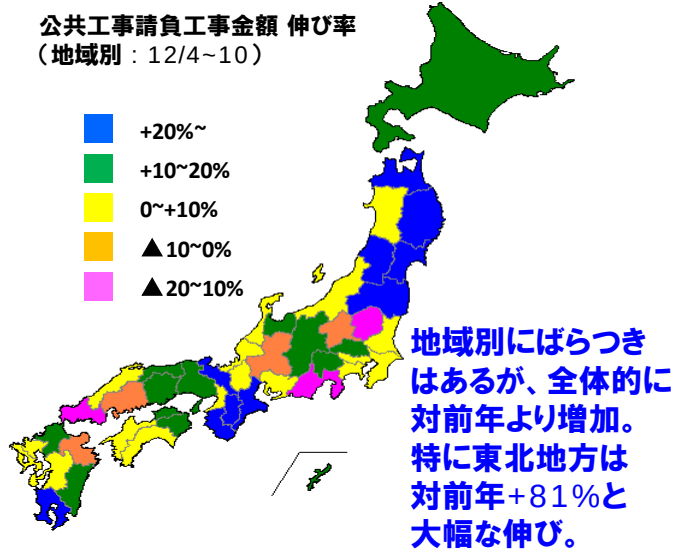
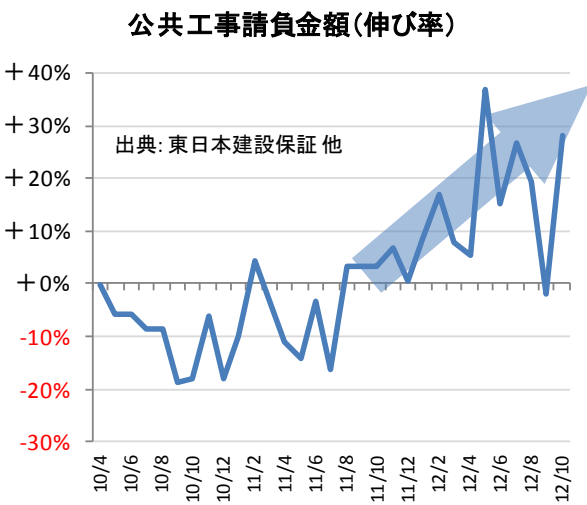
2012年12月17日

**コマツ 執行役員
建機マーケティング本部 国内販売本部長
徳永 武則**

2012年上期(4~9月)の需要はレンタルを中心に拡大、対前年比 +42%の増加。
下期(10~3月)はレンタル需要の収束も予想されるが、一般需要は上期に続き、
増加傾向が続くものと考えられる。



発注・施工出来高ともに足元では対前年プラスと、工事環境は良好に推移。

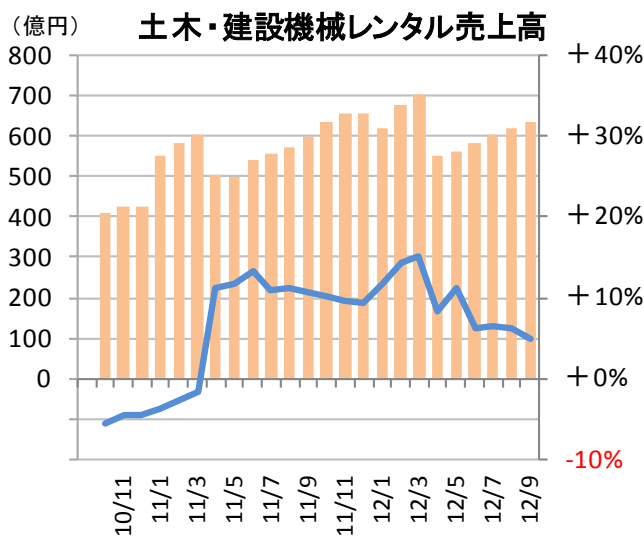


分野別の動向

レンタル・砕石分野でも
外部環境は好調が続く。

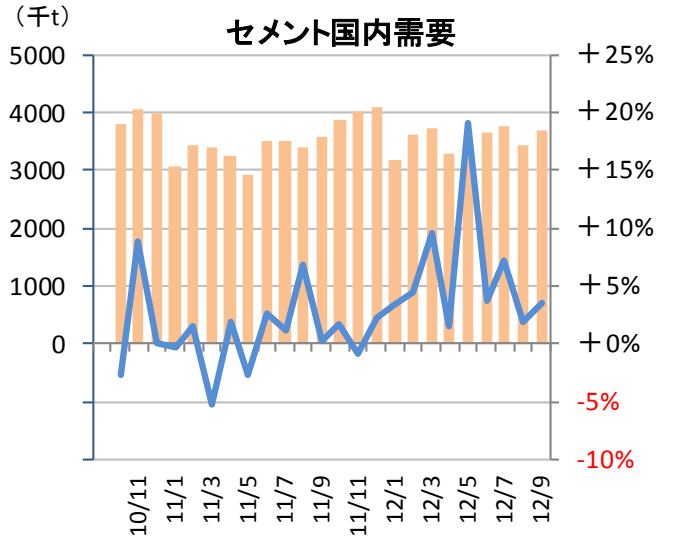
・ レンタル

出典: 経済産業省
特定サービス産業動態統計調査



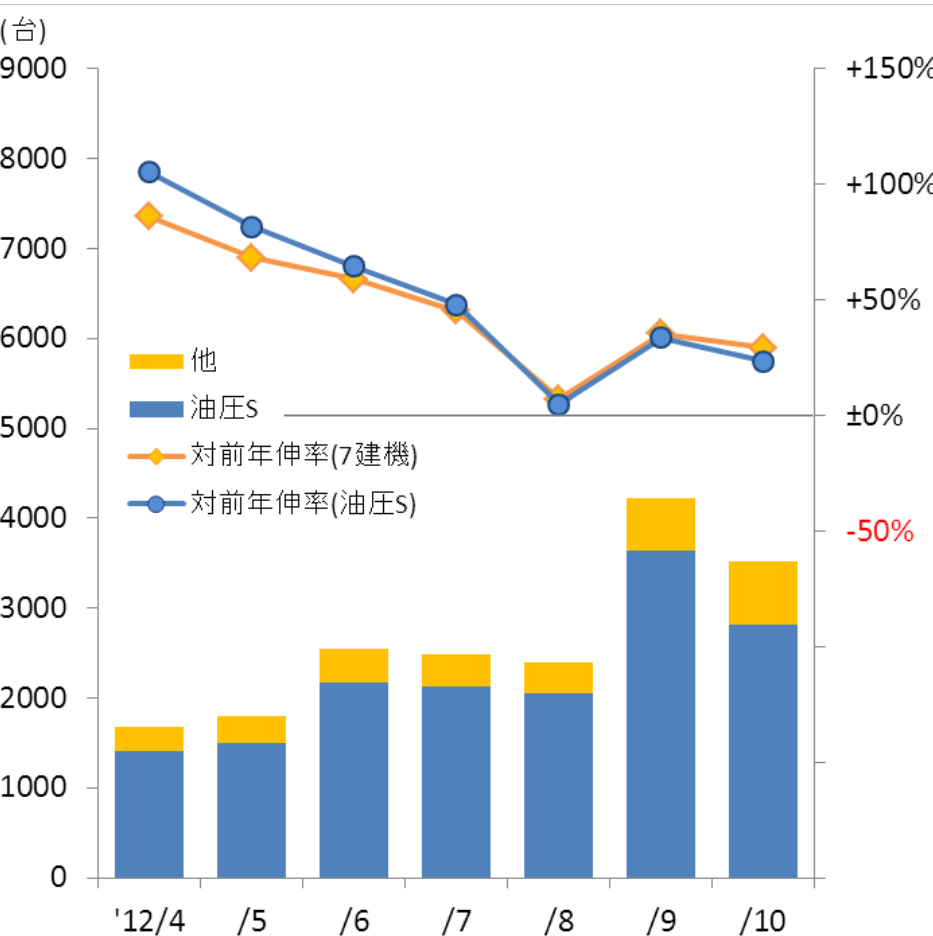
・ 鉱山・採石

出典: セメント協会



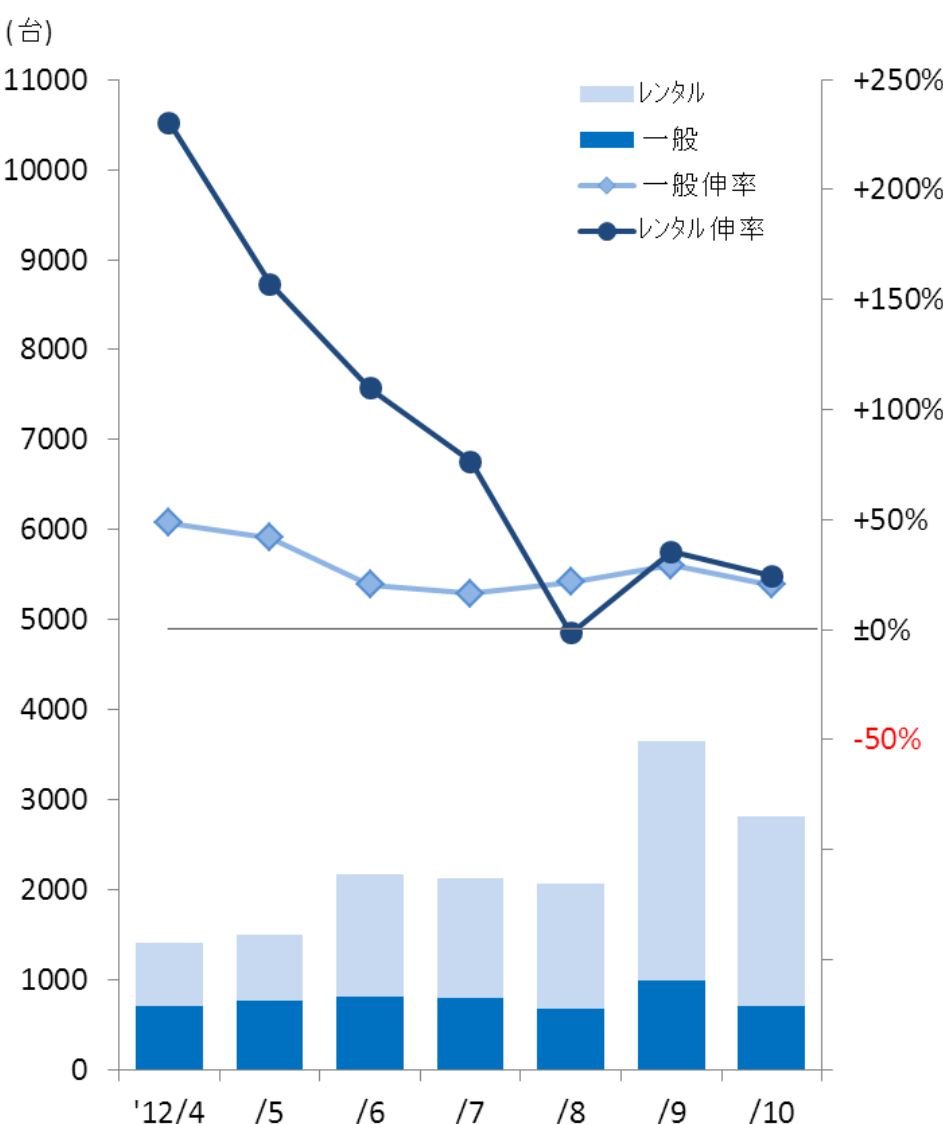
直近の7建機需要推移

上期は油圧Sのレンタルを中心に需要増となっていたが、直近の10月も状況は変わらず、大幅な需要増が続いている。



※ 出典：建機工

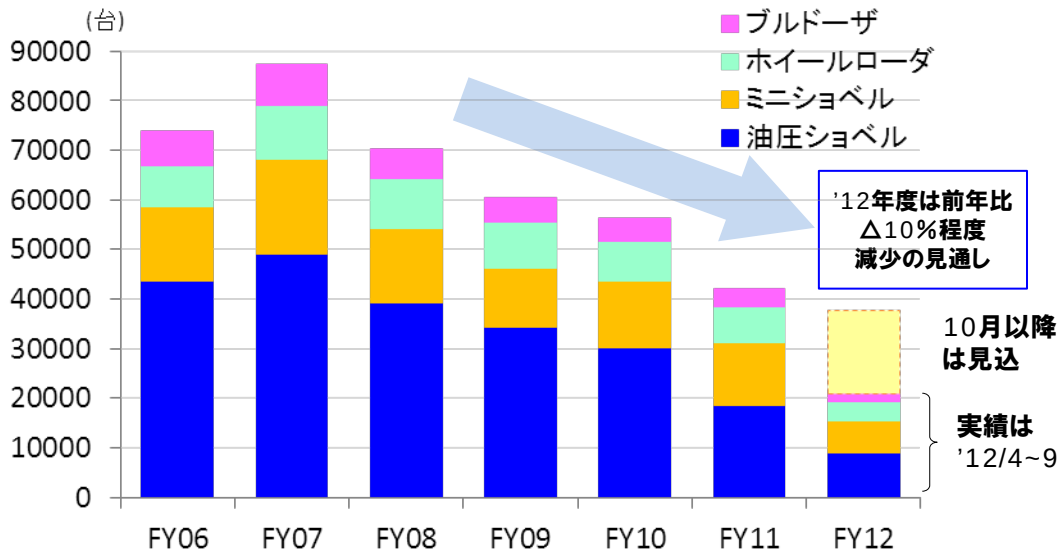
直近の油圧ショベル需要推移（一般・レンタル別）



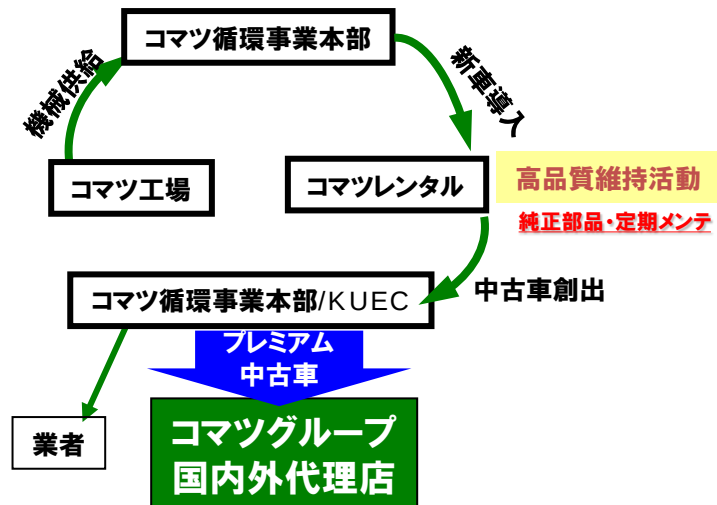
※ 出典：建機工

中古車事業・マーケットの状況

商品別中古車輸出台数推移 (出典:財務省貿易統計)



日本市場のストック調整の収束により、発生中古車が減少
⇒ 中古車輸出台数も年々減少。



コマツレンタルから安定的に発生する中古車は
海外での評価も高く、内外代理店にとって貴重な商品。

プレミアム中古車

- ・徹底したメンテナンス、稼働管理
- ・整備履歴
- ・KOMTRAXレポート
- ・30項目に及ぶパワーライン検査

発生中古車の品質を
コマツがコントロール

Komatsu
Premium
Certified
Used

コマツの中古車ビジネスのねらい

① 中古車価値の向上

中古車の価格アップ → 新車販売の促進、新車価格アップ

② グループ内連結収益の拡大

信頼性の高い高品質中古車は国内外グループ内で循環

③ メーカーならではの中古車ビジネス

- ・ ICTを活用した中古車ビジネス
- ・ コンプライアンス遵守

①まちづくり

1. 現在、着工している中小規模工事は、3市1町6地区。
これらは、盛土工事(山の表土を削って埋立する)が主体の中規模工事であり、中型機械の使用が見込まれる。

市町村	移転面積 (ha)	移 転 内 容 (地区数)			着 工 時 期				
		全体 (合計)	高台	平地	設計	着工 (準備)	12年度	13年度	
							下期	上期	下期
石巻市	90	18	10	8	9	2	2月		
仙台市	100	23	0	23	19	1	2月		
岩沼市	90	3	0	3	2	2	8月		
山元町	50	7	0	7	7	1	6月		

2. 現在、出件ずみ未着工の大規模工事は、2市1町4地区。
これらは、切盛工事(山を切り崩して造成する)が主体の大型工事となり、中大型の油圧ショベルやダンプトラックの使用が見込まれる。

岩手県陸前高田市	200	10	8	2	10	0		8月(重機土工事)	
宮城県東松島市	70	8	1	7	7	0		8月(重機土工事)	
宮城県女川町	230	28	28	0	2	0		4月(重機土工事)	

②復興道路

着工式が完了した3区間から来年度以降順次
発注が本格化する見通し。
大口ト(複数工事一括)工事となる。



■ 三陸沿岸道(PPP)

工区	延長
洋野	20km
普代久慈	25km
田老普代	20km
宮古田老	21km
宮古箱石	33km
山田宮古	14km
吉浜釜石	20km
陸前高田	8km
気仙沼唐桑	10km
歌津本吉	12km
合計	183km

■ 釜石花巻道路

・釜石～釜石西(6km)

③港湾

震災直後より復旧工事が開始され、すでに大半の
工事が発注されているが、作業船による工事が
主体となっている。



■ 主要港湾発注状況

港湾	発注 件数	発注 金額 (億円)
八戸	15	130
久慈	10	40
宮古	10	83
釜石	12	200
大船渡	7	48
石巻	11	90
仙台塩釜	12	46
相馬	20	150
小名浜	29	130

※一部のみ抜粋

来年度中には大部分の工事が
完了する見込み

東日本大震災 被災地への復旧・復興支援

東北オペレーション室の活動



コマツ教習所の開設（宮城・名取）



水中ブルドーザの復元



東北オペレーション室設置

（2011年4月）

累計約19億円相当の支援を実施済(12/10現在)。
今後も継続。

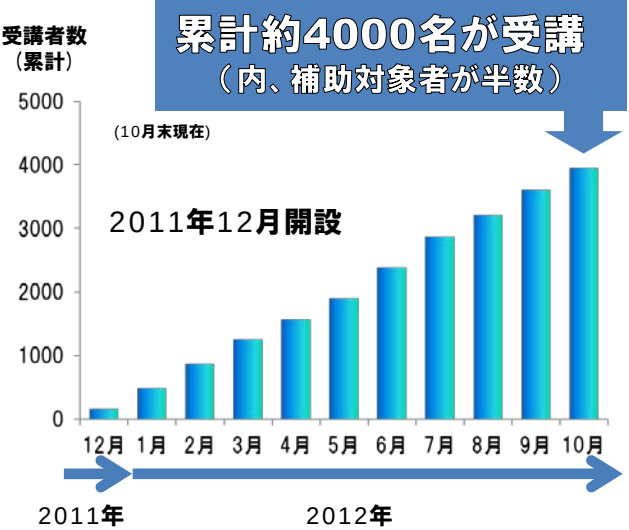
東北サービスセンタ設置

（2011年10月）

- ・ 交替で16名応援体制
- ・ メカニック延べ84名参加

「機械を止めない」活動

機械の稼働を保証することで被災地の復興に貢献

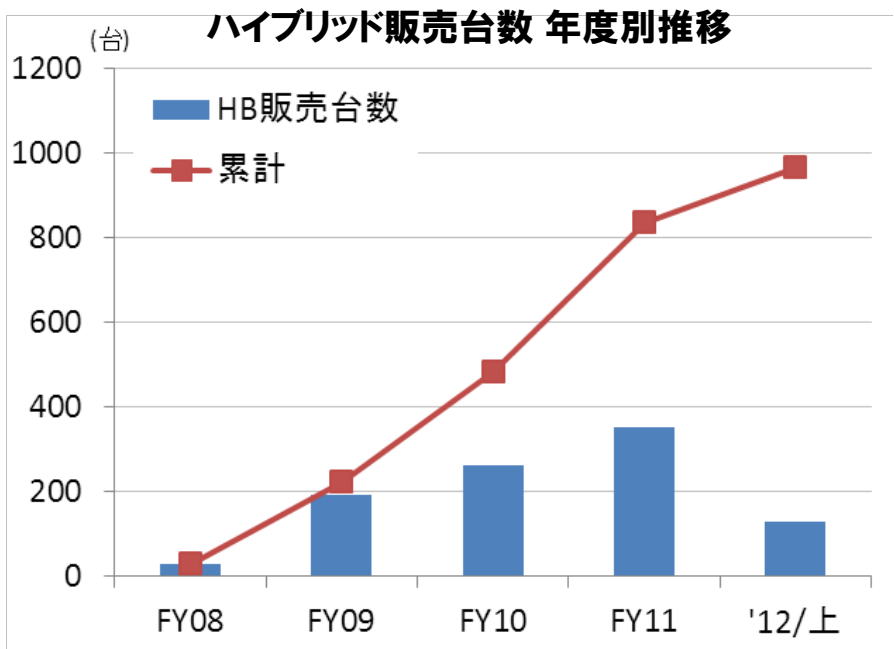


- ・ お客様保有の水陸両用ブルドーザ「D155W-1」（1993年製）を大阪工場にて復元
- ・ サプライヤー約100社の協力を得て2012年9月に完成
- ・ 性能試験後、被災地域にて活用予定

目的

- ・ 被災地で不足している建設機械オペレータの育成
- ・ 被災された方々の就労支援

水陸両用ブルドーザ「D155W」
開発:1972年
重量:陸上43t 水中27t
水深7m対応



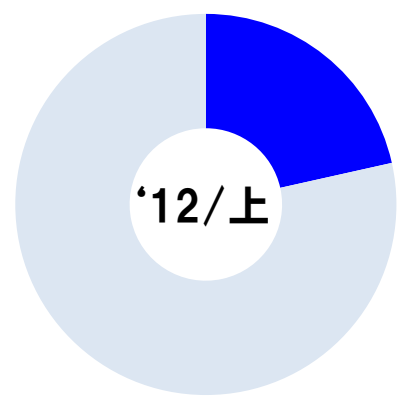
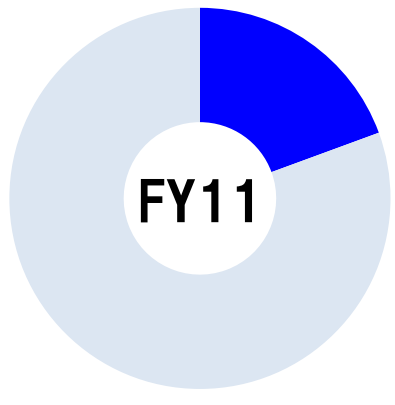
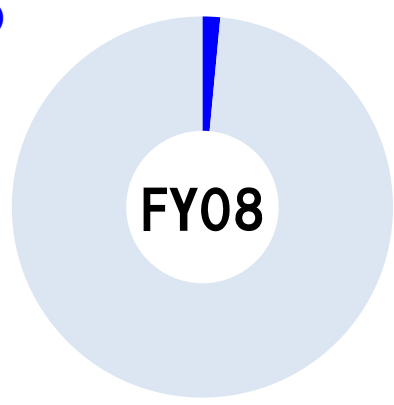
2008年の発売以来
年々販売台数を拡大、
累計では '12/11現在
1000台を超える台数
を販売。



本格導入以来、PC200系の
約2割がハイブリッド。

レンタル顧客を除けば、
ハイブリッド比率は更に
向上し、直近では3割
を超える。

PC200系 油圧ショベルにおけるハイブリッド販売比率



※ PC200系 油圧ショベル
PC200/210(LC)
HB205(215LC)

■ ハイブリッド比率

国内重点活動：排ガス4次規制対応車の市場導入

東京・台場にてオフロード法
2011年基準セミナー・
新商品展示実演会を開催。
(12/12/3)

＜市場導入済みモデル＞

PC200/210(LC)-10
PC220/230(LC)-10
PC300/350(LC)-10
PC400/450(LC)-10
D61EX/PX-23
D65EX/PX-17, D155AX-7
WA500-7
HM300/400-3



該当機種の
4次規制車
販売比率
約15%



ご清聴ありがとうございました。